

審査結果（令和二年九月三日）

少年部

仮二級

望月 大雅

基本稽古の上げ打ち、肘の角度を固定せず、開閉の動作を使いながら打つ。ひじ打ちは、相手との間合いをもっと近くに想定し、肩を回して打つ。前蹴りは、右足から蹴る。右かかと落としは、内側から蹴る。移動稽古の順突きから上げ打ち、動きを区切らず、順突きを引きながら上げ打ちを出す。横蹴りは、真つ直ぐ蹴り込む。型の三、最初の回り込みは前足を大きく外へ踏み出す。首を取る時は、後ろ足のかかとを返す。膝蹴りは、軸足のかかとを上げ、蹴り足の足首を伸ばして蹴る。裏拳から横蹴り、蹴り終わってから手を重ね、顔の向きを変える。逆回し、引つ掛けるように水平に蹴る。相手を制しながらの下段回し蹴り、手は真後ろに向けて出す。内受けは強く。外受けは、肩を回す。すね受けは下段。後ろ回し蹴りの前の寄せ足は、元の位置まで戻す。残心は、三秒取る。

三級合格

加藤 大馳

基本稽古の前手肘打ち、肩を回す。横蹴りは、足刀を作る。移動稽古の半きば立ち、後手のガードはあごの高さに上げる。回る時は前方ではなく頭上で手を重ねる。型の二、下段回し蹴りは引き足を取る。内受けは、手を斜め前方に出す。肘から先を立てる。残心は、三秒取る。約束組手四の反撃、後ろ足を交叉して踏み出すのではなく、前足の横へ揃えながら回り込む。

仮三級

岡 稜真

基本稽古の前手肘打ち、よく指示を聞き、正しい動作をする。横蹴りは、足刀を作る。移動稽古の逆突き、目の高さではなくあごの高さに打つ。型の二の下段回し蹴り、ももの高さへ蹴る。首を取る手、後ろ足のかかとを返す。相手の頭を手の平で押さえるように斜め下へ向ける。ひざ蹴りの足首は伸ばす。順突き・逆突き、歩かずに正しく足を送る。残心を三秒取る。

五級合格

松島 陽芽

全体的に、左の順突き・逆突きが下からすくうように打っているので、真っ直ぐ打つこと。基本稽古の逆突き、号令に合わせて打つ。前手上げ打ち、打ち終わりの位置が高いので中段へ打つ。内回し、蹴り終りに斜めを向いているので、一回一回正面を向く。右上段双手受け、壁側の手の脇を締め、地面と垂直に立てる。型の一、三本蹴りの後の回る所はゆっくりと。半きば立ち、前手ガードを上げ、肩の高さにする。

六級合格

パルマー 仁奈

基本稽古・移動稽古の横蹴りは、足刀を作る。移動稽古の順突きは、肩を回す。前蹴りは、中心にかかえ込んでからまっすぐ蹴る。型の一のすね受け、三本蹴りの後の回る所、横蹴り前の足を引く所などバランスを取って円滑に動く。三本蹴り、一本目と二本目の間は、一拍、間を空ける。残心は、三秒取る。約束組手一の反撃、タイミングが遅いので、突きに合わせて捌く。

六級合格

山崎 脩

全体的に、気合が小さい。基本動作の座礼、手を付く時は、ひじを伸ばす。基本稽古の横蹴りは、足刀を作る。外受けは、肩を回す。移動稽古の回るとき、振り向く方向と同じ手を前に重ねる。型の一、すね受けはバランスを取り、途中で足を付かないようにし、円滑に回る。残心は、三秒取る。

九級合格

楠奥 大輝

自分の席へ戻る時、座礼の順番を守る。基本動作の組手立ち、横は肩幅に広げる。

九級合格

高鹿 星矢

自分の席へ戻る時、座礼の順番を守る。基本動作の座礼は、頭を下げてから気合を入れ、三秒数えてから戻す。組手立ち、横は肩幅に広げる。閉足立ちは、脇を締める。

九級合格

染谷 計羽

自分の席へ戻る時、座礼の順番を守る。基本動作の自然体、足は肩幅に開く。手先は、身体の幅に開く。座礼は、頭を下げてから気合を入れ、三秒数えてから戻す。組手立ち、横は肩幅に広げる。手は、あごの高さに構える。

保留再審査

中野 幸大

型を演じる時は、一組の技は流れるようにつなげ、組間には間を置き、リズムを作る。型の一、すね受けはバランスを取り、円滑に回る。残心は、三秒取る。型の二、下段回し蹴りはスナップを効かせて蹴る。残心は、三秒取る。型の三の回し崩し、手だけで側方まで崩さず、相手を正面にとらえておく。膝蹴り、軸足はかかとを上げ、伸び上がって蹴る。横蹴りはかかえ込みを作り、引き足を取る。相手を制しながらの下段回し蹴り、手は振らずに残す。後ろ回し蹴りの前の寄せ足は、元の位置まで戻す。残心は、三秒取る。型の二、三を再審査。

保留再審査

水島 丈

基本稽古の前手上げ打ち、肩を回してタメを作り、戻しながら打つ。前蹴り、上段に蹴る。回し蹴りの後ろの手は、あごをガードする。横蹴り、足刀を作る。内受け、よく指示を聞き、正しい動作をする。左内受け、頭を隠す高さに上げる。外受けは肩を回す。上段双手受け、頭を隠す高さに上げる。型の二の下段回し蹴り、ももの高さへ蹴る。膝蹴り、身体を横に傾けない。内受けは、肘から先を立てる。残心は、三秒取る。約束組手の三の攻撃、寄せた足は前足より前に踏み出さない。反撃の寄せ足は、元の場所へ戻してから回り込む。基本稽古の前手上げ打ち、内受けを再審査。

保留再審査

小関 琉矢

基本稽古の順突き、後ろの手はあごをガードする。逆突きは、肩を回す。回し蹴りは、タメを大きく作って蹴る。横蹴りは、足刀を作る。外受けは、肩を回す。移動稽古の順突きは、肩を回す。前蹴り、回し蹴り、足首を締め、中足を返す。型の一のすね受け、三本蹴りの後の回る所、横蹴り前の足を引く所などバランスを取って円滑に動く。膝を曲げ過ぎず、すねを地面と垂直に保つ。横蹴り、閉足立ちに戻す。残心は、三秒取る。視線は、前に向ける。約束組手一の反撃、よく指示を聞き、正しい動作をする。

約束組手一を再審査。

保留再審査

パルマー 望明

全体的に、気合が小さい。基本動作の座礼、手を付く時は、ひじを伸ばす。基本稽古・移動稽古の順突き、肩を回す。逆突きは、上から打ち下ろさず、真っ直ぐ打つ。基本稽古の外受けは、肩を回す。前蹴りは、右足から蹴る。回し蹴り、中足を返す。横蹴りは、足刀を作る。移動稽古と型の半きば立ち、回る時は肘を伸ばして、頭上で重ねる。型の一の三本蹴り、一本目と二本目の間は、一拍、間を空ける。残心は、三秒取る。約束組手一の攻撃は逆突き。反撃、タイミングが遅いので、突きに合わせて捌く。

基本稽古の前蹴り、約束組手一を再審査。

講評

少年部 昇級審査

【色帯受験者】

全て力を抜いてしまうのではなく、全て力んでしまうのでもなく、技に緩急をつけ、キメを入れるように稽古してください。

【黄色線受験者】

審査会場に入ってから出るまでが審査です。日常の稽古で反復し、技以外の行動も決まり通りにできるようにしておいてください。